食べることは　生きること、人を良くすることです・・・食育シリーズ①

下仁田こんにゃくイメージキャラクター

SHOCK しもんたに『食』をおこそう

下仁田町商工会青年部のイメージキャラクター

『下仁田町食育推進計画』を作りました!!

町民のみなさんのお宅に概要版は届きましたか。

広報では、今後「食育シリーズ」として、食情報を配信していきますので、紙面でお楽しみください。

食育とは?

生涯を通じた健全な食生活の実践と、食文化の継承ができる人を育てることです。

そのために、自分の食について考え、食に関する知識と、食を選択する判断力を身に付けることが大切です。

食育推進計画は、食育基本法をもとに、下仁田町の特性を活かした食育推進の方向性を示したものです。下仁田町で生活し、活動している方々と行政とが一緒に作りました。

「食」は生きるうえでの基本です。町民一人ひとりが食の大切さを見直し、健康で心豊かに生活していくことができるように、家庭や学校、地域と行政とが力を合わせて、みんなで取り組んでいきましょう。

計画期間は平成25年度からの10年計画で、5年間推進した後には中間評価を行います。

具体的な内容は、町民の方に行った「食に関するアンケート」結果から課題が見つかったので、それを改善するために町民が自発的に取り組む行動、地域で取り組む行動をそれぞれ計画をたてて実行していきます。

今回わかった大きな課題は以下の8項目です。

①食育に関心がない	②朝食を食べない	③野菜が嫌い
④野菜を食べる量が少ない	⑤塩分のとりすぎ	⑥男性の肥満
⑦こどものおやつの回数が多い	⑧高齢者が食生活に不便を感じる	

これらの課題改善に向けて、“野菜”に着目した取り組みを展開します。

町内で活躍している各種団体と協力しながら、町民のみなさんが野菜を作ったり、野菜のことを学んだり、美味しく食べたりできるような働きかけをしていきます。その結果として、健康な心と体が培われ、充実した食の環境づくりができることを目指します。

さあ、みんなでもっと“食べること”を楽しみましょう。

問い合せ先　健康課　保健環境係　（保健センター内）☎82−5490

ジオパークで
地域に活力を!!

ジオパーク推進だより

下仁田町自然史館（ジオパーク推進室）
下仁田町大字青倉158-1
☎70-3070 FAX67-5315
http://www.shimonita-geopark.jp/

行事報告

4月12日（金）下仁田町公民館の大会議室において、下仁田町更生保護女性部会の方（120名）への出前講座を行いました。

▲下仁田町更生保護女性部会

4月25日（木）秩父ジオパークの協賛団体でもある、NPO秩父まるごと博物館の方（25名）がお越しになり、自然史館内と跡倉クリッペのすべり面を見学されました。

4月27日（土）東京都練馬区から約80名の教諭がお越しになり、コンニャクの手作り体験と、青岩公園を見学されました

▲コンニャク手作り体験

自然史館の利用他

4月6～8日	本宿陥没研究会
4月27～28日	金剛萱遺跡研究会
4月28日	古地磁気研究グループ

行事予定　現地観察会『大桁山』

日　　時：７月１３日（土）
詳しい内容につきましては、ジオパーク推進室へお問い合わせください。

申し込み：ジオパーク推進室　☎70−3070
※土日祝祭日も申し込みいただけます。

▲大桁山

第４回惑星地球フォトコンテスト

日本地質学会主催の「第4回惑星地球フォトコンテスト」において、下仁田自然学校運営委員をされている本多優二さんの応募された写真が特別賞の「ジオパーク賞」に入選されました。この写真は、「一昨年開催された体験教室で、ガイドが子どもと同じ目線にたって自然を満喫するというものを表現している」そうです。

この写真が、ジオと人との関わりを表現したものとして高く評価され、新設された「ジオパーク賞」の入選となりました。全国的なフォトコンテストで下仁田ジオパークを題材とした写真が入選したことを下仁田ジオパークとしても大変うれしく思っています。

なお今回入選された本多さんの入選作品につきましては、下仁田町自然史館に掲示してあります。

▲入選作品

ネギとコンニャク・ジオパーク　山岳信仰の山「秋葉山」

※秋葉大権現信仰

秋葉山大権現は火坊、火伏せの神様で本社は静岡県浜松市にあり赤石山脈南端（標高866m）に位置する秋葉山本宮秋葉神社（秋葉大権現）です。下仁田町でも秋葉山信仰が行われている所は他にもありますが、地域を挙げてのお祭りはこの地、馬居沢が一番盛大に行っているようです。昔から『地震・雷・火事・おやじ』と言われていますが、苦労して築きあげた家々を灰にしてしまう火災は今以上に恐れられていたことが、この秋葉山信仰からうかがうことができます。その反面、地元の人は親しみをこめて「あきやさん」と呼んでいるそうです。

※山岳信仰

秋葉山周辺の山々にはもう一つの特徴があります。秋葉大権現の石宮のほか、山岳信仰が盛んであった山で、多くの石造物が祀られています。西上州の山々は山容に特徴があることから、山岳信仰が盛んでした。特に兄倉山（吉崎の御岳）、小沢岳、金剛萱、秋葉山、四ッ又山、日暮山（初鳥屋）、神成山（神農原）には多くの山岳信仰の石造物があります。これらの多くは幕末から約100年間の間に建立されています。これらの御嶽信仰を西上州に広めたのは、秩父三峯神社で神道を学び、別当高雲寺で天台密教を学んだ普寛行者が普及した山岳信仰で普寛講とも言われています。現在も本庄市にある普寛神社で引き継がれています。馬居沢の秋葉山も例外ではなく「仙人詰」と言われる洞穴には普寛行者の像が祀られています。（下仁田町歴史研究会発表会資料より抜粋）

※下仁田町自然史館では、午前9時から午後4時まで展示室を開放しています。ぜひお出かけください。

問い合わせ先　下仁田町自然史館（ジオパーク推進室）　☎70−3070

「富岡甘楽更生保護サポートセンター」が開設

平成25年4月1日より富岡市あい愛プラザ3階に開設されました。
この施設は、富岡甘楽保護区保護司会の活動拠点となる施設で、担当保護司が常駐し、事務処理、更生保護に関する情報の収集・発信および資料の提供基地として活動します。また、関係団体との連絡連携、非行などの困りごと相談にも対応します。

より住みやすい地域づくりの一角を担う「富岡甘楽更生保護サポートセンター」へお気軽にお声掛けください。
開所日および時間　月曜日から金曜日（祝日を除く）午前10時から午後4時まで

問い合せ先
富岡甘楽更生保護サポートセンター
☎67−7770　　FAX67−7771

保護司会とは？
法務大臣の委嘱を受けた保護司の組織であり、おもに犯罪や非行に陥った人の更生を任務とし、地域の安全安心を築く「社会を明るくする運動」を行っています。
富岡甘楽保護区保護司会は定数48名で、富岡市・下仁田町・南牧村・甘楽町の保護司で組織されている60数年の歴史ある団体です。
現在、この地域における保護観察係属数は、犯罪や非行のピークであった10年前に比べ3分の1に減少し平和な地域になってきています。